

授業科目名	公安社会科学(経済)	開講年次	2年次以上	単位数	1
サブタイトル	経済系科目の最重要分野対策・入門編	担当者	小川 竜明		
講義概要	<p>【概要】 公務員への志は誰にも負けず、試験に合格するためなら労力は惜しまないという覚悟はあるが、今日まで公務員採用試験の経済系科目の勉強をほとんど(全く)しておらず、何から手を着けたら良いのか分からないという学生を対象に、本講座では警察官・消防官採用試験で繰り返し出題されている「GDP」、「経済史」、「経済学史」、「国際経済」を学習する(市役所等の採用試験でも同様に出現頻度が極めて高い分野である)。 公務員試験の経済系科目は、用語が難解であることなどを理由に学習を敬遠する者が多い。言い換えると、経済系科目で得点を稼げるようになれば、ライバルに差をつけることができ、合格に一步近づく。 講義では、過去に出題されたものを一問一答の正誤判定形式に改めるなどして、問題文のどこを刮目すれば良いのか把握しやすいように工夫を施した担当者オリジナルの教材を配布し、それにしたがって進めていく。なお、同じく出現頻度の高い「財政」と「金融」については、『時事問題Ⅱ(経済)』で扱う。</p> <p>【到達目標】 「過去問の問題文を読んでも、何を言っているのかさっぱり分からない」状態から脱し、難解な経済用語に惑わされることなく正誤判定ができる「本物」の学力を身につけること。</p>				
履修条件	真剣に、公務員採用試験合格を目指す者。必ず、第1回目の講義に出席すること。				
教科書・参考書	【教科書】 教科書は指定しない。当方でレジュメ(教材)を用意し、それにしたがって、講義を進める。 【参考書】 花岡幸子『経済用語図鑑』(WAVE出版)、『ニュースがわかる基礎用語』(清水書院)など。				
授業回数	授業内容				
1	オリエンテーション、学力診断試験、【経済学史(1)】アダム＝スミス、リカード、ケインズなど				
2	【経済学史(2)】フリードマン、シュンペーター、マルクスなど				
3	【GDP(1)】国内総生産と国民総生産(「国内」と「国民」の違いについて)				
4	【GDP(2)】「フロー」と「ストック」の違いについて、「三面等価の原則」とは何か				
5	【GDP(3)】国内総生産から国民所得への計算方法、「市場価格表示」と「要素費用表示」の違いについて				
6	【GDP(4)】国内総生産に計上されるものと計上されないもの				
7	【GDP(5)】国内総生産に関する計算問題対策				
8	中間試験、解説				
9	【経済史(1)】景気循環				
10	【経済史(2)】戦後復興期から高度成長期を経て第1次石油危機まで				
11	【経済史(3)】第1次石油危機から安定成長期を経て現在まで				
12	【国際経済(1)】リカードの比較生産費説				
13	【国際経済(2)】購買力平価説と金利平価説				
14	【国際経済(3)】国際収支				
15	期末試験、解説				
評価方法	中間試験、期末試験(いずれも、教科書やノート等の持込不可)の成績のみで判定する。				
評価基準	中間試験(50点満点)と期末試験(50点満点)の合計が70点以上。				
その他	経済系科目は、他の科目以上に、高い学習意欲と強い忍耐力が求められる。以下の点に留意されたい。 ○真摯に講義を受ける学生の志気を下げるとともに、(教室中に響く溜め息、大あくび、居眠り、私語、電子機器の使用等)を行った者には退室を命じるなど、厳正に対処する。 ○1回でも欠席や遅刻をすると、その回の学習内容が抜け落ちて、それ以降の学習内容を理解するのが非常に困難になる。要望があればそれを極力講義に反映させるとともに、受講者の理解度を考慮しながら進めていくので、講義への積極的な参加を願う。なお、受講者の理解度を考慮しながら進めていく過程で、上の授業内容は変更する場合がある。				